



学校だより

令和 8 (2026) 年 3 月 発行

☆ 保健部より ☆

三年生の皆さん、保護者等の皆様、ご卒業、おめでとうございます！皆さんの心と体の健康を願ってきた保健部としての最後のメッセージは、「自分を大切に！」です。頑張り屋さんが多い湖陵高校。思いっきり「今」を楽しみ全力で人生を邁進されていくことと思います。でも、頑張りすぎは禁物です。心と体の声にしっかり耳を傾けてください。疲れたかも、と感じたら（感じる前に！）、気持ちの吐き出しやセルフケアを、どうぞお忘れ無く！

【保健部の活動】

保健部では、心の健康を支える教育相談活動を行っています。外部講師を迎えて実施するピアサポート研修会は9年目に突入し、学校生活や将来の仕事に生かことができるスキルを身につけるべく多くの生徒が参加してくれています。年2回の面談週間のみならず、日常的・継続的に生徒と先生方との面談が行われ、温かい関係性の構築に努めています。

湖陵高校には、生徒がほっと一息つく場所として、ほっこりと温かい保健室と、もう一つ教育相談の担当教員が常駐している相談室「ひだまり」があります。「いらっしゃーい」「おかえりー」「いってらっしゃーい」と生徒を迎え、送り出しています。おしゃべりをしたり、静かに過ごして気持ちをリセットしたり、ゆったり過ごせる場所です。来室者の数は少なくはありませんが、来室者の大多数は、ふらりと遊びに来てくれる生徒たちです。行きつけのお気に入りのカフェのように、ひだまりに気軽に遊びに来てくれる生徒が増えることは担当者としては喜ばしいことです。なぜかと言いますと、予防的な視点で見ると、こまめに気持ちを吐き出すことができるのは非常に重要だからです。本人の心が爆発してしまったり、気持ちが途切れてしまったりしてからでは、そのケアに苦戦を強いられることも多いのが実際です。だからこそ、保健室やひだまりで、もしくは廊下や授業で会ったときに少し話す、この小さな積み重ねが絶大な効果を発揮するように思います。保健部では、今後もこの温かい関わりを継続していきたいと考えています。

在校生の保護者等の皆様も、どんな些細なことでも結構ですので、お子様の成長の過程での気になる変化や不安がありましたら、担任を通じてご相談ください。今後ともよろしく願いいたします。

☆ SSH推進部より ☆

このSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業は、国の五年間の指定事業であり、本校は昨年度より第三期目（令和五年から令和九年まで）の指定を受けております。研究開発課題を『よりよい未来を共創する科学技術イノベーターに求められる「Koryo Agency」を育成するプログラムの研究開発』とし、全生徒を対象に行っています。

主要な取組として、理数探究科1年生の「釧路湿原巡検」、2・3年生による「課題研究」、文理探究科1年生の「地域創生プラン発表会」、2・3年生による「探究活動」などを実施しました。また、課題研究・探究活動の充実に向けて外部連携を推進してきました。理数探究科はSSH運営指導委員の助言を受け、文理探究科は釧路教育大学・釧路公立大学・釧路高専と連携した「アカデミックインターンシップ」を実施しました。さらに、今年度から北海道立総合研究機構とも連携し、取組の充実を進めています。

講演会では東京大学大学院新領域創成科学研究科の中山 一大 准教授から人間の進化について、北海道大学大学院理学研究院の黒岩 麻里 教授からY染色体についてご講演頂きました。

第二期から取り組んできたE（Expansion）プラン（生徒が企画立案した研修計画を審査し、採択された研修を実現するプログラム）に関しては、4件の申請があり、その全てが採択されました。採択された生徒たちは、課題研究の内容を学会の高校生部門で発表したり、課題研究を発展させるために大学・研究機関の専門家からの助言を求めたりと、意欲的に取り組む姿勢が見られました。

本事業では、生徒には探究のプロセス（課題の設定→情報収集→整理・分析→まとめ・発表）を意識しながら、他者と協働し、試行錯誤を繰り返すことを通じて深い学びを実践する力の育成を目指してきました。その成果が1月31日（土）に開催されたSSH成果発表会で披露され、今年度の活動に一区切りを付けました。今後もSSH事業が湖陵生の成長に資するものとなるよう、改善を図って行きたいと考えております。ご家庭でSSHの取組が話題になるようなSSH事業にしていきたいと考えています。

編集後記

皆様のおかげで、今年度も本校の教育活動全般が順調に推移してまいりましたことを心より感謝申し上げます。

本校は、今年度の卒業生を最後に普通科及び理数科の学科から全ての生徒が文理探究科または理数探究科に属するという新しい形の高等学校となっていく予定です。これは北海道だけではなく全国的に見ても先進的な学科転換であり、未来を担う若者の育成という意味で大変意義のある取り組みであると考えております。

私たちは、これからも本校が地域はもとより北海道・日本さらには世界に貢献できる生徒の育成につながるよう誠心誠意努力して参りますので、どうぞ皆様からの温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8（2026）年3月

北海道釧路湖陵高等学校総務部